

建築鉄筋コンクリート構造学第1部 Reinforced Concrete Structure (Part 1)

教員名	倉本 洋（くらもと ひろし）							
教員連絡先 （研究室所在地・TEL）	吹田キャンパス S1 棟 7 階 728 室 電話：06-6879-7635							
E-MAIL アドレス	kuramoto@arch.eng.osaka-u.ac.jp							
履修対象	建築工学コース（2 年次）							
単位	2	セメスター				4		
受講条件	特になし							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	建築物躯体の主要な構造である、鉄筋コンクリート構造について、その原理と部材の特性を理解するとともに、実際の断面設計まで行えるようにする。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	○	○			◎			
授業計画・概要	テーマ	概要						学習・教育目標
	鉄筋コンクリートに関する基礎知識（2 回）	鉄筋コンクリートの原理、歴史的な背景、および鉄筋コンクリート構造の特徴についての基礎的な知識を身につける。（包括 2 回）						A E
	使用材料の基礎知識（1 回）	鉄筋コンクリートの構成材料である鉄筋（鋼材）とコンクリートの材料特性に関する基礎知識を身につける。（包括 1 回）						A E
	軸力を受ける部材の力学特性（1 回）	圧縮および引張を受ける鉄筋コンクリート部材の力学特性に関する基礎知識を身につける。（包括 1 回）						E
	梁、柱および耐震壁の曲げ設計（10 回）	純曲げを受ける線材（梁）、軸力と曲げを受ける線材（柱）および軸力と曲げを受ける面材（耐震壁）の力学特性、並びに当該部材の曲げに対する断面解析と設計に関する基礎的な知識を身につける。（包括 7 回） 部材断面設計、ひび割れ制御設計、靱性設計、耐久設計などに関する高度な専門知識を身につける。（高度 3 回）						E B
	学期末試験（1 回）							
教科書	特に指定しない（授業中に資料を配付する）							
参考図書・文献等	日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」丸善出版							
成績評価方法・評価基準	学期末試験で評価する。総点で 60 点以上を合格とする。							
オフィスアワー	随時 e-mail にて対応							
コメント	特に指定しない（授業中に資料を配付する）							